

平成 29 年 11 月 8 日(水)

報道関係者各位

株式会社シェルター

木造建築をもっと自由に シェルターの新提案 “FREE WOOD”

シェルターは、日本で初めて三次元加工機を導入し、木材から複雑な形状の部材を「削り出す」技術を新たに実用化した。これまで、曲線・曲面のある木造建築の設計・加工・施工に挑戦し実績を重ねてきた。この度、新たな 3D 技術が加わったことで、デザインの自由度を高め、より複雑な部材の製作が可能となった。これら曲線やひねりのある部材群の呼称を“FREE WOOD”（フリーウッド）とし、市場へ販売を開始する。

近年、単なる箱型とは異なる、曲線・曲面を活かした木造建築が増えてきている。このような木造建築をつくるために、「曲げ」や「切り出し」という部材加工の方法が使われていた。「曲げ」は木材を曲げて曲線とし、「切り出し」は直線の木材から曲線を切り出すものだった。

この度、新たなアプローチとして導入したのが「削り出し」の技術である。世界でも実例の少ない技術であり、ヨーロッパ以外では初めて導入された三次元加工機と、それを制御する最新の設計・加工アプリケーションソフトの開発により実現した。これまで困難であったひねり（ツイスト）形状の加工や、角度や曲率の異なる複数の部材を組み立てる作品など、より自由なデザインが可能となった。この新技術は、「静岡県富士山世界遺産センター」（設計：坂茂建築設計）の木格子の部材に使われている。

今後はデザインにこだわる建築家や設計事務所、建て主へ“FREE WOOD”を提案し、公共建築や商業施設などへの採用を目指す。今まで意匠設計の自由度を理由に鉄骨造や鉄筋コンクリート造を選択していた設計者に対して、木造という新しい選択肢が生まれることで、木材需要の拡大が期待される。鉄やコンクリートにはない木材特有のやわらかさ・加工のしやすさを活かす新提案“FREE WOOD”によって、新たに創造される木造建築を推進していく。

会社概要

【代表者】代表取締役 木村 一義

【設立】1974 年 12 月

【事業内容】木構造メーカー

(木質構造部材の製造・販売、木造建築の構造設計・計算、注文住宅の設計・施工)

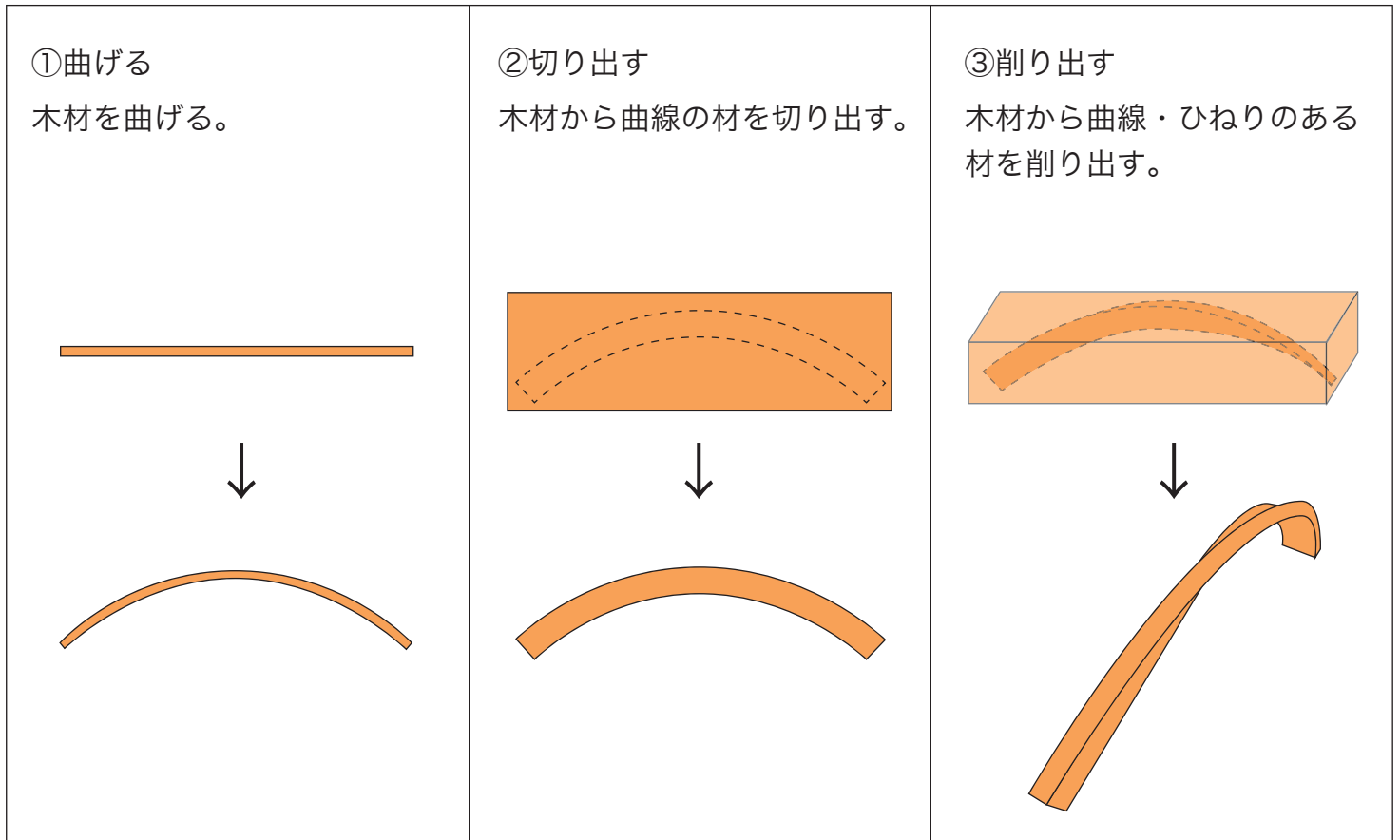
【URL】<http://www.shelter.jp/>

【本件に関するお問い合わせは下記まで】

株式会社シェルター 広報担当：土田、菊地

山形市松栄一丁目 5-13 TEL：023-647-5200 E-mail：toiawase@shelter.jp

“FREE WOOD”（曲線材、ひねり材）を製作する主な技術



“FREE WOOD” を使った作品

